

# 検体準備・作製の注意点

## 4 腫瘍組織 (FFPE) 薄切標本作製

### ■ 未染色標本及びHE染色標本の準備

- ✓ 未染色標本 10 枚以上 \*1枚のスライドガラスに複数の切片を載せてご提出いただけます。(Q&A.13を参照)

切片の合計体積: **0.8 mm<sup>3</sup>以上**

- ✓ 合計体積0.8mm<sup>3</sup>未満でご提出いただいた場合でも、核酸抽出まで検査工程を進めます。マクロダイセクションを希望される場合は、マーキング内の合計体積が0.8mm<sup>3</sup>以上となる様にご提出ください。

切片の表面積: **16 mm<sup>2</sup>以上**

- ✓ 16 mm<sup>2</sup> 未満の場合は、切片の合計体積が **0.8 mm<sup>3</sup>** 以上になるように、切片の枚数を追加してください。例: 表面積4 mm<sup>2</sup>、厚さ5 μmの場合、40枚以上必要

✓ 切片の厚さ: **5 μm**

10 μm薄切の場合は、未染色標本を5枚以上ご用意ください。

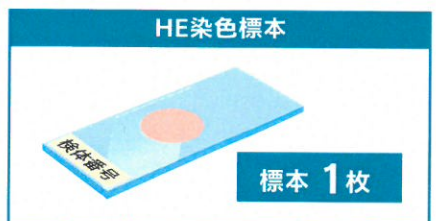
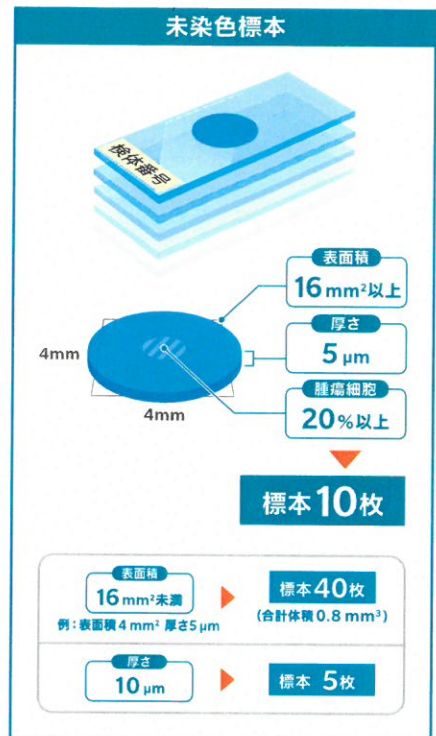
- ✓ HE染色標本 1 枚

- ✓ 十分な有核細胞数を含む標本

\*特に生検検体では腫瘍率が高くて有核細胞が少ないとQC failすることがあります。有核細胞を多く含む部分をマーキングし、マクロダイセクションを希望してください。

### ■ コンタミネーションの防止

- ✓ 検体ごとに余分な薄切片を清掃し、新たなマイクロームブレードを使用してください。
- ✓ 手袋は頻繁に交換してください。



### ■ HE染色標本の注意点

- ✓ マクロダイセクション希望ありの場合



腫瘍細胞が20%以上となるよう、HE染色標本の腫瘍部をマーキングしていただき、ポータル上で検査依頼作成時、マクロダイセクション「あり」にチェックしてください。  
スライドガラス上に切片が複数ある場合はマクロダイセクションが必要な切片にマーキングしてください。

ポータル画面	
マクロダイセクション	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり
腫瘍率	80 %

※マクロダイセクションを実施する場合はマクロダイセクション後の腫瘍率を記載下さい。

- ✓ マクロダイセクション希望なしの場合



HE染色標本にマーキングは不要です。標本上の全組織から核酸を抽出します。  
ポータル上で検査依頼作成時、マクロダイセクション「なし」にチェックをしてください。

ポータル画面	
マクロダイセクション	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり
腫瘍率	70 %

※マクロダイセクションを実施する場合はマクロダイセクション後の腫瘍率を記載下さい。